

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

## 地域子ども・子育て支援事業の評価基準について

第5章においては、計画に記載している各年度の目標値・推計値に対する事業の進捗を年度ごとに確認し、下記の評価基準に当てはめて評価する。

「計画上の目標値(確保方策)」及び「実際のニーズ量」に対して評価する。

## ＜進捗状況に対する評価＞

- A 評価 … 各年度の目標を達成（○）かつ実際のニーズ量も達成（○）  
 B' 評価 … 各年度の目標は達成している（○）が、実際のニーズ量は未達成（×）  
 B 評価 … 各年度の目標は達成していない（×）が、実際のニーズ量は達成（○）  
 C 評価 … 各年度の目標を達成しておらず（×）、実際のニーズ量も未達成（×）

## ■補足

評価にあたっては、原則として上記の基準に基づき、目標値を達成できたかどうかを評価する。ただし、目標値と実際のニーズ量に乖離がある場合を想定し、毎年各事業においてPDCAを行いながら、評価時点で実態に合った評価を行う。

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和4年度 目標 (確保方策)	実際の ニーズ量	実績	令和4年度実績・取組内容	進捗評価	課題と対応策 (目標値との乖離理由など)	
1	時間外保育事業 (延長保育事業)	ほいく課	通常保育の利用者に対し、通常の保育時間を超えて延長して保育を行う。	利用人数	512人	522人	522人	実利用者数：832人（うち18時以降利用者522人） 利用延べ人数：5,361人 実施園：26園 （市立保育所2園、市立認定こども園2園、私立保育園12園（6月～11月）、私立認定こども園4園（6月～5月）、私立小規模保育事業所6園）	A	通常の保育時間を超えて延長して保育を行うことで、保護者の就労状況等に柔軟に対応する形で保育を提供することができた。今後もニーズの把握を行い、事業の充実に努める。	
2	放課後児童健全育成事業	青少年育成課	保護者の就労等のため、放課後家庭での保護を受けることのできない小学生を対象に適切な遊びと生活の場を与えて健全育成を図る。	利用人数	低	613人	618人	618人	全体入会者数756人（令和4年4月1日時点）  ・8校のうち4校を継続して民間事業者に委託した。 ・岩園小学校に1学級増設し、校区内で待機児童を出さない運営を行った。	A	高学年においては、継続して利用する児童が増加しており、計画のニーズ量と実績との間に大きな乖離が生じたため、保育スペースを増設する等の対応をした。今後も継続利用する児童が増加することを見込み、令和4年度に行った計画の中間見直しにおいて、令和5年度、令和6年度の量の見込みと確保方策を上方修正した。今後も、待機児童を出さないよう、対応していく。
				高	81人	138人	138人	A			

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和4年度 目標 (確保方策)	実際の ニーズ量	実績	令和4年度実績・取組内容	進捗評価	課題と対応策 (目標値との乖離理由など)
3	子育て短期支援事業 (子育て家庭 ショートステイ 事業)	こども家庭・ 保健センター (こども家庭 総合支援担 当)	保護者の仕事、疾病、出 産等の理由で子どもの養 育が一時的に困難となる 場合等に、児童福祉施設 において一定期間、養育 及び保護を行う。	実施か所数	12か所	—	15か所	実施か所数：15か所 利用実績：1か所 利用人数：1人 年間利用日数：7日	A	コロナ禍もあり施設でのショートス テイの受け入れが非常に難しいこと から、令和4年7月よりショートス テイの受け入れ先に里親を加えた。 制度についての周知があまり進ま ず、利用はそれほど増加していない が、里親宅でショートステイを利用 した家庭が何度も利用を希望される など、里親の利用については良好で あると思われる。 引き続き、制度の周知を図り、必要 とされている家庭が利用しやすいよ うに情報提供を行っていく。
4	地域子育て支援 拠点事業 (つどいの広場 事業)	こども家庭・ 保健センター (こども家庭 総合支援担 当)	子育て支援サービス等に 関する情報提供、相談及 び助言等、子育ての総合 窓口を設置するととも に、子育て中の親子が気 軽に遊べる場(「むくむ く」「ぶくぶく」「もこ もこ」)を提供する。	実施か所数	4か所	—	6か所	実施か所数：直営4か所、委託2か 所 ・「むくむく」(子育てセンター) 開設日数：192日 利用延べ人数：8,956人 ・「もこもこ」(上宮川文化セン ター) 実施日数：50日 利用延べ人数：721人 ・「フチアンジュ」(岩園幼稚 園) 実施日数：48日 利用延べ人数：1,743人 ・「ハンビ」(西藏こども園) 実施日数：191日 利用延べ人数：5,298人 ・「ひとしお」(しおさいこども 園) 開設日数：241日 利用延べ人数：3,542人 ・「キオラクラブ」(浜風あすのこ ども園) 開設日数：191日 利用延べ人数：1,005人 その他 ・「あそぼう会」(子育てセン ター) 開設日数：4日 利用延べ人数：177人 ・「オンライン事業」(子育てセン ター) 実施日数：18日 利用延べ人数：105人	A	子育てセンター事業においては、コ ロナ禍により縮小・中止していた事 業を、感染防止対策を講じながら、 開催時間・定員等を徐々に増やし た。オンライン事業は、自宅での参 加のしやすさもあるため食事に関す ること等健康課栄養士と共催のプロ グラムを継続して実施した。 今後も事業の内容や実施の仕方など について、従前同様ではなく新たな 形態で実施することも含め、こども や保護者が楽しめる事業を実施し ていけるよう努める。

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標		令和4年度 目標 (確保方策)	実際の ニーズ量	実績	令和4年度実績・取組内容	進捗評価	課題と対応策 (目標値との乖離理由など)
				利用 人数							
5-1	幼稚園における 一時預かり事業	管理課 こども政策課 ほいく課	園児の心身の健全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援するため、幼稚園において在園児を対象として教育時間後等に保育を行う。	利用 人数	3歳	16,881人	5,791人	5,791人	【管理課】 ・市立幼稚園：1園（岩園幼稚園3歳） 利用延べ人数：679人 ・市内私立幼稚園：2園 利用延べ人数：611人 ・市外私立幼稚園（新制度未移行）：6園 利用延べ人数：1,608人  【ほいく課】 ・市立認定こども園：2園 利用延べ人数：1,276人 ・私立認定こども園：7園（市内5園、市外2園） 利用延べ人数：1,617人	B	【管理課】 市立幼稚園では、令和3年度より、岩園幼稚園で3年保育を試験的に始めたことで、令和4年度も引き続き3歳児の預かり保育も実施した。利用率は他の4・5歳児と比較して大差はなかった。  【ほいく課】 令和3年度より市立認定こども園で事業を開始したが、昨年度に比べて延べ利用者数が減少した。今後もニーズの把握を行い、事業の充実に努める。
					4、5歳	41,713人	25,136人	25,136人	【管理課】 ・市立幼稚園：5園 利用延べ人数：11,918人 ・市内私立幼稚園：3園 利用延べ人数：2,353人 ・市外私立幼稚園（新制度未移行）：9園 利用延べ人数：3,204人  【ほいく課】 ・市立認定こども園：2園 利用延べ人数：3,601人 ・私立認定こども園：10園（市内5園、市外5園） 利用延べ人数：4,060人	B	【管理課】 市立幼稚園の平均利用者数は、前年度と大きく変わらず横ばいであるため、一定数の利用ニーズがあることが認められる。  【ほいく課】 令和3年度より市立認定こども園で事業を開始したことにより、昨年度に比べて延べ利用者数が増加した。今後もニーズの把握を行い、事業の充実に努める。
5-2	保育所・ファミリー・サポート・センター等における一時預かり事業	ほいく課	保護者の仕事、疾病、出産、冠婚葬祭等の緊急かつ一時的な理由で家庭での保育が困難となる場合に保育所で預かり保育を行ったり、ファミリー・サポート・センター事業により子どもを預かる。	利用 人数	保	3,083人	1,407人	1,407人	利用延べ人数：1,407人 実施園：6園 市立認定こども園1園、私立保育所4園、私立小規模保育事業所1園で実施（西蔵こども園、山手夢保育園、夢咲保育園、茶屋保育園、はなえみ保育園、HANA保育園）	B	令和3年度より市立認定こども園で事業を開始したが、昨年度に比べて延べ利用数が減少した。 目標値に対して乖離が生じているが、施設整備や認可外保育施設の活用により、待機者は一定解消されている。
					フ ア	3,009人	2,508人	2,508人	利用延べ人数：2,508人  依頼会員：830人 協力会員：338人 両方会員：42人 合計：1,210人	B	感染防止対策をして事業を継続して実施し、講習等も開催方法を工夫して実施するなど質の向上にも努めた。在宅勤務等働き方に変化が生じ、通勤時間の減少などで保育所や学童保育の終了後の預かりなど減少が見られている。今後も事業の周知啓発に努めていく。
		合計			6,092人	3,915人	3,915人				

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和4年度 目標 (確保方針)	実際の ニーズ量	実績	令和4年度実績・取組内容	進捗評価	課題と対応策 (目標値との乖離理由など)
6	病児保育事業 (病児・病後児 保育事業)	ほいく課	病気や病気回復期の子 どもで、保護者の就労等 の理由で、保護者が保育 できない際に、保育施設 で子どもを預かる。	実施か所数	2か所	—	2か所	実施か所数：2か所 (市立芦屋病院内、市立精道こども 園内) 利用延べ人数：563人 (病児保育563人、病後児保育0 人)	A	令和3年度から市立認定こども園内 で事業を開始し、昨年度より延べ利 用者数が増加した。 今後も、事業の周知や利便性の向上 等に努めていく。
7	子育て援助活動 支援事業 (小学生)	こども家庭・ 保健センター (こども家庭 総合支援担 当)	保護者の仕事、疾病、出 産、冠婚葬祭等の緊急か つ一時的な理由で家庭で の保育が困難となる場合 に、育児の援助を依頼し たい人と協力したい人が 会員となって一時的、臨 時的に有償で子どもを自 宅で預かる相互援助活動 を行う。	利用人数	3,353人	1,518人	1,518人	利用延べ人数：1,518人  依頼会員：830人 協力会員：338人 両方会員：42人 合計：1,210人	B	感染防止対策をして事業を継続して 実施し、講習等も開催方法を工夫し て実施するなど質の向上にも努め た。在宅勤務等働き方に変化が生 じ、通勤時間の減少などで保育所や 学童保育の終了後の預かりなど減少 が見られている。今後も事業の周知 啓発に努めていく。
8	利用者支援事業	ほいく課	「子育てコーディネー ター」として認定した支 援者が、地域における 様々な子育て支援サー ビスの紹介を行ったり、子 育てに関する相談を受け 専門の施設へ繋いだりす る役割を担い、市民(利 用者)が多岐にわたる子 育て支援サービスを円滑 に利用できるようにす る。	特定 型	1か所	—	1か所	実施か所数：1か所(市役所)	A	ほいく課窓口にて保育所の入所相談 を中心に、子育て支援に係るサー ビスの紹介を行う。
		こども家庭・ 保健センター		実 施 か 所 数	母 子 保 健 型		1か所	1か所	実施か所数：1か所(こども家庭・ 保健センター)  妊婦やパートナーに対して遊び場を 案内し、育児の準備性を高める支援 を行った。 遊び場事業に週2回定期的に参加 し、気軽に相談できる機会を設け た。 相談件数：108件	A
9	妊婦健康診査 (妊婦健康診査 費助成事業)	こども家庭・ 保健センター	妊娠中の健康診査の受診 を促進し母体や胎児の健 康を確保するため、妊婦 健康診査費の助成を行 う。	利用人数	1,065人 <sup>※1</sup>	—	877人	妊娠届出数：525人 妊婦健康診査助成券利用人数：772 人 償還払い人数：105人 【妊婦健康診査助成金額】 5,000円×14枚 10,000円×1枚 2,000円×13枚 合計：106,000円	B	出生数の減少により、妊婦健康診査受 券利用者、償還払いは減少してい る。 妊婦健康診査の増額により、妊婦が いる世帯の経済的負担の軽減に寄 与しており、妊婦健康診査を受診し やすくなっている。

No.9は、もともと計画書において確保すべき【令和4年度目標】を設定していないため、下記のとおり設定します。

【※1】No.9「妊婦健康診査」については、令和4年度目標＝「推計値：1,065人」とします。

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和4年度 目標 (確保方策)	実際の ニーズ量	実績	令和4年度実績・取組内容	進捗評価	課題と対応策 (目標値との乖離理由など)
10	乳児家庭全戸訪問事業	こども家庭・保健センター	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。	訪問件数	624件※2	—	470件	対象戸数 528戸 訪問数 470人(うち新生児訪問 10人)訪問率 89.0% 【未訪問の内訳】他市・他機関への依頼による訪問 15人 電話相談対応 23人(養育実態把握数 508人(96.2%)) 【未把握者内訳】病院入院中 2人 転出 8人 転入8人 連絡つかず 2人	B	昨年度より、訪問率は少し上昇。継続して未訪問者についても追跡し、養育環境を把握している。専門職が訪問・養育環境を把握することで、育児情報の提供、保健相談を行うことができ、育児支援につながっている。
11	養育支援訪問事業等(育児支援家庭訪問事業)	こども家庭・保健センター(こども家庭総合支援担当)	子どもの養育について支援が必要であるにもかかわらず、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な家庭で、支援が必要と認められた家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等を派遣して育児指導、育児相談や簡単な育児・家事の援助を行う。	利用回数	6回※3	52回	52回	延べ利用回数：52回 【ヘルパー派遣】 利用人数(実人員)：2人 年間延べ利用日数：12日 【助産師派遣】 利用人数(実人員)：7人 年間延べ利用日数：40日	A	令和4年7月より利用対象者の要件や利用上限回数を変更し、幅広い利用に繋がれるようにした。引き続き、制度の情報提供を行い必要とされる家庭にサービスが届くように努める。 また令和5年度より、重点的に支援が必要な家庭へは、申請・利用料不要のヘルパー派遣等を実施する。
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業	ほいく課	実費徴収または上乗せ徴収された日用品・文房具等必要な物品購入に要する費用、行事参加に要する費用等の低所得者の負担軽減を図る。	—	—	—	278人	利用者人数：225人	A	保育所・認定こども園・幼稚園等の対象者に対して、情報提供を行い、制度の周知に努める。
		管理課						利用者人数：53人 ・市立幼稚園：38人 ・私立幼稚園：15人	A	保育所・認定こども園・幼稚園等の対象者に対して、情報提供を行い、制度の周知に努める。
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	ほいく課	新規事業者が事業を円滑に運営していけるよう、支援・相談・助言等を行う。	—	—	—	62回	巡回訪問回数：62回 認定こども園特別支援教育対象人数：4人 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、訪問人数を減らして巡回を行った時期があった ②訪問予定日時を園と協議し、感染対策を講じて巡回訪問を行った。	A	感染対策を講じながら、予定回数をすべて実施できるようにする。

No.10～No.13は、もともと計画書において確保すべき【令和4年度目標】を設定していないため、下記のとおり設定します。

【※2】 No.10「乳児家庭全戸訪問事業」については、令和4年度目標＝「推計値：624件」とします。

【※3】 No.11「養育支援訪問事業等」については、希望して利用できるサービスではないため、令和4年度目標として「推計値：6回」とします。

【※4】 No.12「実費徴収に係る補足給付を行う事業」及びNo.13「多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」については、目標値を設定する事業になじまないため、数値目標は設定しておりません。